

令和8年度みよし市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

みよし市は、ほぼ平坦地で水田農業が盛んとなっており、主力は水稻、麦である。麦は団地化に取り組んでおり担い手による作付が進められている。

都市型農業のため兼業農家が大半を占め、後継者不足が課題となっている。また、未整備の農地があり、受け手のない状況が散見されている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

みよし市では、水田における転換作物として主に小麦を推進している。今後も生産性（単収）や品質向上を重視するとともに、小麦等転換作物の団地化に取り組んでいく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

みよし市では、水田における転換作物の現地確認を行い、水稻を組み入れず畑作物のみを生産している水田の状況も併せて把握している状況である。現状、畑作物のみを生産している農家は、耕作面積が小さい農家がほとんどで後継者が不在となった場合は、大規模法人組織等に利用集積をしていき、水田で水稻・麦のブロックローテーションを行って水田をフル活用していく方針であるため、今後もブロックローテーションを維持するには、耕作者の意向に配慮して畑地化は積極的に推進しない。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底により米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ需要に応じた米の生産を行う。

(2) 備蓄米

該当なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

該当なし

イ 米粉用米

該当なし

ウ 新市場開拓用米

該当なし

エ WCS 用稲

該当なし

オ 加工用米

地域の実需者との契約に基づき、求められている数量を作付していく。

(4) 麦、大豆、飼料作物

ア 麦

重点品目として位置づけ、団地化の維持・拡大を推進し、収量の確保と高品質生産を継続するため、明渠排水等の実施を推進し、栽培面積の拡大を図る。

イ 大豆

転換作物の1つとして、作付を推進していく。

ウ 飼料作物

地域の実需者との契約に基づき、求められている数量を作付していく。

(5) そば、なたね

該当なし

(6) 地力増進作物

該当なし

(7) 高収益作物

販売目的での野菜、花きの作付について栽培面積の拡大を推進していく。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位: ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	223.7	0	219	0	190	0
備蓄米	0	0	0.7	0	58	0
飼料用米	0	0	0	0	0	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	-	-	-	-	-	-
WCS用稲	-	-	-	-	-	-
加工用米	24.9	24.9	18	18	20	0
麦	94.9	0.1	85.1	0	100.4	5
大豆	0.7	0	0.2	0	1.5	1
飼料作物	1.9	1.6	2.9	1.7	5	3
・子実用とうもろこし	-	-	-	-	-	-
そば	-	-	-	-	-	-
なたね	0	0	0	0	0.1	0
地力増進作物	-	-	-	-	-	-
高収益作物	35.1	1.9	35.5	1.2	48	3
・野菜	19.7	1.9	19.3	1.2	28	3
・花き・花木	1.7	0	1.6	0	2	0
・果樹	13.7	0	14.6	0	18	0
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）	目 標 値
				（7年度）	（8年度）
1	野菜、花き （基幹作）	高収益作物に対する助成	（取組面積）		
			野菜	3. 8ha	4. 0ha
			花き	0. 3ha	0. 6ha
			合計	4. 1ha	4. 6ha
2	麦類 （基幹作・二毛作）	麦類の団地化（1ha以上）、品質向上に対する助成	（取組面積）	（7年度）	（8年度）
			麦類	77. 4ha	100. 4ha
3	麦、大豆、飼料作物 （二毛作）	麦、大豆、飼料作物による二毛作に対する助成（二毛作）	（取組面積）	（7年度）	（8年度）
			麦類	0. 0ha	5. 0ha
			大豆	0. 0ha	1. 0ha
			飼料作物	1. 9ha	3. 0ha
			合計	1. 9ha	9. 0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:愛知県

協議会名:みよし市地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	高収益作物に対する助成	1	5,500	「野菜、花き(別紙のとおり、基幹作)」	収穫した作物は出荷・販売すること 等
2	麦類の団地化(1ha以上)、品質向上に対する助成	1	16,000	「小麦、大麦(基幹作)」	団地化要件、連担要件を満たす者 等
2	麦類の団地化(1ha以上)、品質向上に対する助成	2	16,000	「小麦、大麦(二毛作)」	団地化要件、連担要件を満たす者 等
3	麦、大豆、飼料作物による二毛作に対する助成(二毛作)	2	5,000	「麦、大豆、飼料作物(二毛作)」	明渠等の排水対策を実施すること 等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

個票1 別紙

対象作物名	一覧
野菜	青瓜、いちご、かぼちゃ、キャベツ、レタス、リーフレタス、きゅうり、にがうり、かんしょ、さといも、スイカ、だいこん、かぶ、オクラ、えだまめ、ソラマメ、さやえんどう、とうがん、しろうり、まくわうり、さやいんげん、ささげ、たまねぎ、とうもろこし、トマト、ミニトマト、なす、ニンジン、ピーマン、ねぎ、わけぎ、らっかせい、はくさい、ばれいしょ、みょうが、みずな、にんにく、なばな類、ブロッコリー、ズッキーニ、茎ブロッコリー、ケール、れんこん、メロン、ふき、らっきょう、カリフラワー、こまつな、チンゲンサイ等。
花き	花き類、野菜苗、花苗等。